

全国医療ソーシャルワーカー協会会長会 第 26 回会議 議事録

日時：2021年6月5日（土）14：00～15：10

会場：オンライン開催（Zoom）

司会：外山(事務局)

議事録：清野(事務局)

議 事：

1. 開会挨拶

全国会長会代表 藤田(大阪医療ソーシャルワーカー協会 代表理事)より

2. 議長選出

参加者からの立候補がいなかった為、次回大会地の和歌山医療社会事業協会西田会長が任命された。

3. 2020 年度収支決算報告・2021 年度収支予算（案）について

事務局・外山より、別紙資料に基づき収支報告と予算案を説明し、会場からは質問がなく承認となった。

4. 部会報告（提案）

◆キャリアラダー部会

静岡県医療ソーシャルワーカー協会中村会長より、北海道協会のラダーを土台として取り組む予定だったが、なかなか集まれなかった為議論が出来ていない。北海道協会のラダー冊子を後日全協会へ配布する為、今後具体的な話し合いを進めていく事としたいと報告があった。

◆実習マニュアル部会 ※実習マニュアルβ版の配信・アンケート実施済み

新潟県医療ソーシャルワーカー協会の坂詰会長より、β版を第 1 版として出すが、修正などの議論は今後進めていく事としたいと報告があった。

5. 各協会からの報告・情報提供について

・各協会の役員改選・活動状況、課題や悩み事などについて情報提供

① 役員改選について各協会から報告と挨拶

茨城県 中根猛新会長から挨拶

長崎県 折原重光会長から挨拶と交代する米倉康佑新会長の紹介と挨拶

熊本県 土肥会長から挨拶と来週の総会で交代予定の久保茂樹の紹介と挨拶

栃木県 荻津守新会長から 6 月 1 日より就任となった旨挨拶

東京都 田上会長より 5 月末の総会で交代した平田和広会長より挨拶と東京都医療ソーシャルワーカー協会に変更になった事、10 月 1 日を目途に登記変更予定である事が紹介された。

千葉県 柳田会長より今大会参加の御礼と今月末に予定する総会で交代予定の浅野新会長の紹介と挨拶

長野県 杉野新会長より 5 月改選で植竹会長から交代した事、副会長が 2 名から 3 名体制に変更になった事が紹

介された。

神奈川県 藤田寛会長より挨拶、今月から新会長予定の福田副会長の紹介と挨拶

日本協会 早坂会長より3期6年務めた会長を退任する予定である事を挨拶

なお、体制変更があれば会長会事務局へ連絡をして頂くよう事務局外山から連絡をした。

② 愛知県協会 小林会長より

- ・医療ソーシャルワーカーの為に保証人マニュアル 3 版が完成した事を紹介した。(現在ホームページを改修中であり、6月14日から購入可能。メールでも後程案内する予定。)

③ 九州協議会 土肥会長より

- ・九州合同大会を12月4日に宮崎県協会主催でZoomによるオンライン開催予定である事を紹介した。

④ 日本協会 早坂会長より

- ・厚労省健康保健室からヤングケアラーのプロジェクトチーム立ち上げ、推進について

医療ソーシャルワーカーの名称も文言に入っており、都道府県レベルでの取り組みを進めるよう通知が発出されているとの報告があった。

- ・在留外国人の新型コロナウイルス感染拡大防止のための医療ソーシャルワーカーの連携について報告があり、事例があれば情報提供をして欲しい旨を合わせて依頼した。

(栃木県協会荻津会長より)

病院のルールで診療報酬が1点20円~30円で高額で受診し難い面もある。都道府県単位ではなく、日本協会など全体として活動が出来ると国にも評価してもらえるのではないかとこの意見が話された。

⑤ 北海道協会 木川会長より

- ・虐待、DV問題について

高齢者虐待マニュアルを作成して運用しているが、児童やパートナー等からの虐待も含めたマニュアル作成を考えており、すでに他協会でも実施しているものがあれば情報共有して欲しいとの依頼があった。

- ・各県協会からの情報の共有

各協会でもイベント情報をアップしていると思われるが、それぞれの都道府県協会ホームページをチェックする時間はない。日本協会ホームページ上に会長会ページがあるがタイムリーな情報がアップ出来ていない。有効な情報共有方法を今後検討して欲しいとの意見があった。

6. 全国大会について

- ・2021年千葉大会(柳田会長より)

初のフルオンラインで苦労も多々あったが、今回の経験は次回からの大会運営にもぜひ参考にして欲しいとの挨拶があった。

- ・2022年和歌山大会(西田会長から紹介があった関本查智プログラム委員長より)

2022年6月25日、26日に現時点ではハイブリッド開催を検討中。協会会員は80名程度で全国的に見ても少数だが、互いの関係性は深い。繋がりを最大限に生かした準備をしたいという挨拶と広報委員会作成の大会宣

伝動画を視聴した。

・2023 年開催立候補の状況

日本協会組織運営部より、コロナ禍や各協会の会長交代などもあった為か、立候補は現時点ではない事、希望があれば組織運営部へ連絡をいただきたい。

7. 検討事項

・子ども家庭福祉士に関する資格について

(日本協会早坂会長より)都道府県協会の協力について、改めて御礼と現状の経過説明を会長の共有資料を基に実施した。

新たな資格が出来そうな点が問題であり、何とかしたい。

2つの派があり、新たな資格創出を推進する派と今の資格に認定資格を上積みする派。

厚労省から提案するのは新たな国家資格のみしか出ない為、国家資格でない方法を推進している当協会は職能団体側からの提案を求められている為、ソ教連、JFSW3 団体との協議をして提案内容を決めていこうと考えている事を説明した。

(滋賀県 谷口会長より)コヤリ厚生労働大臣政務官が滋賀県出身であり、面会した際には、両論併記であるが大臣は全国のソーシャルワーカーが反対している事も知っており、無理には作るつもりではない。全国からの反対が強ければ国としても無視して新たな資格を作る事は出来ないという事を話されていたとの事。

滋賀県で開催される会で改めて政務官に質問出来る機会がある為、質問があれば谷口会長に連絡をするよう依頼があった。

(群馬県 中井会長より)各協会から地元の議員に声かけなどを行ったと思うが、会長会内でも情報共有や全国規模で動き方を皆で議論していきたいとの意見があった。

(滋賀県 谷口周長より)以前に政務官と話す機会があった際には、準備・理解不足だった為、日本協会事務局に問い合わせ、提供のあった資料が非常に役立った為、共有出来るなら全国会長会でも共有して欲しいとの意見があった。

(日本協会早坂会長より)3 団体で資料を擦り合わせて共有の準備をしたい事、議員は国民の声を聴くのが仕事なので、話は聞いてくれると思われるのでぜひ行動して欲しいとの意見があった。

・第 27 回会長会会議の開催について

(事務局外山より)次回開催日は感染状況なども考慮して役員会で検討した内容を改めて提案したいとの連絡があった。

8. その他

6/11(金)、香川県の和田会長よりご連絡あり、四国の会長会役員が愛媛の松本会長に変更になると追加連絡。

9. 閉会挨拶

全国会長会副代表 木川（北海道医療ソーシャルワーカー協会会長）より